

藤沢市
藤澤浮世絵館

2024年12月
第26号

こども浮世絵しんぶん



【図1】歌川国芳「大山良弁滝」

歌川国芳の描いた「大山良弁滝」(図1)を見てみると大勢の人が滝の下で泳いでいるように見えるね。大山詣りに来ている人々が良弁滝で「水垢離」と

いうお清めをしているよ。
大山は今の神奈川県伊勢原市にある山だよ。江戸時代には大山の頂上までお参りに行くことがブームだったんだ。
(東海道から大山に続く大道は藤沢の四ツ谷が分かれ道だったよ。くわしくは「こども浮世絵しんぶん25号」を読んでね！)
大山には水に関係する神様や苦しいことから助けてくれる仏様がいて、火消し(今の消防士)や漁師など水に関係するお仕事をしている人々に人気だったよ。大山の頂上までお参りに行ける期間は、旧暦6月27日ごろから7月16日(今の5月の終わりから6月のなかばまで)の20日間だけだったんだ。しかも、男の人しか登ることができなかった

良弁滝でのお清めは大山詣りの大切な行事。



【図2】大山の頂上に向かう男の人たち(図1から抜粋)

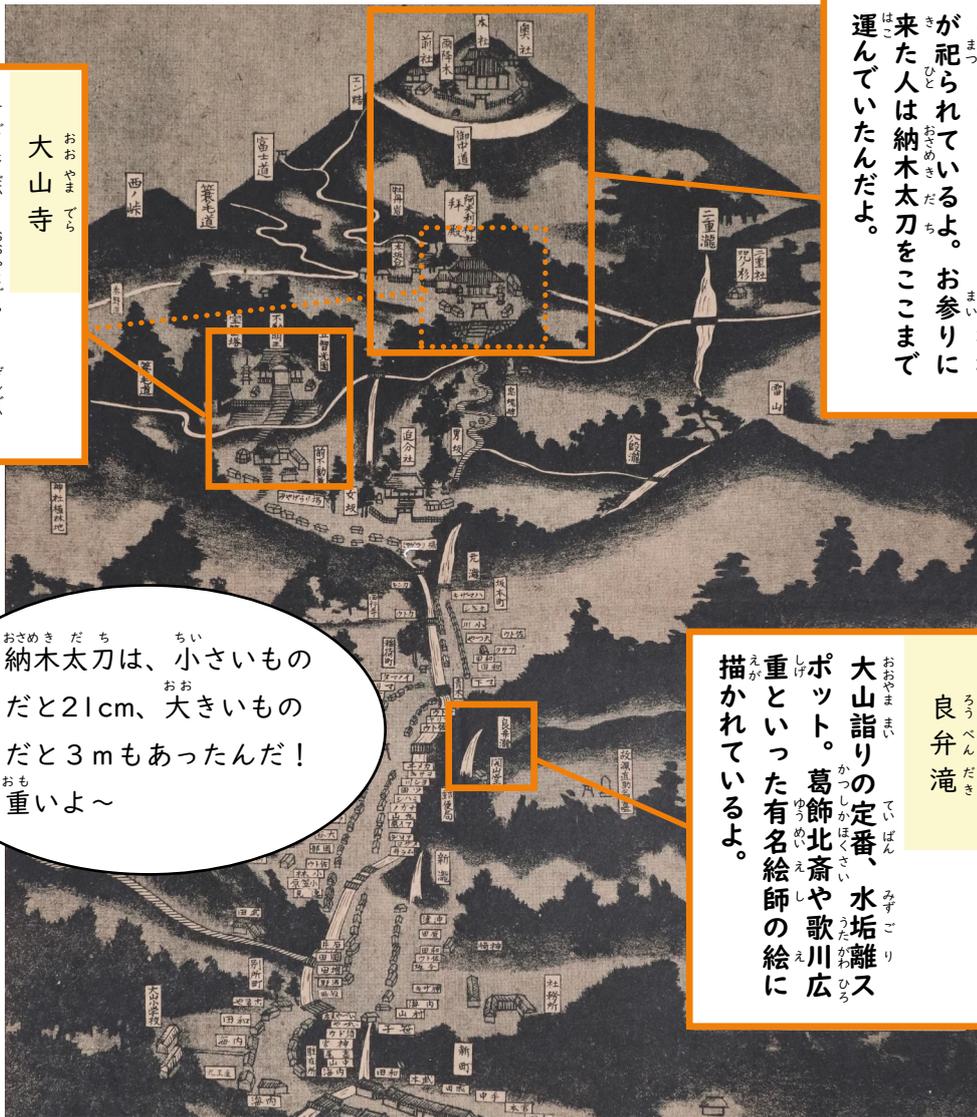
お参りに来ていた火消したちは「火事が早く消せますように」ってお願いしていたのかな？



んだ。図1の一部(図2)に水垢離の後に大山寺や阿夫利神社に向かう人たちが描かれているよ。満員電車みたいにぎゅうぎゅうだね！

体力勝負！大山の頂上を目指せ

図3を見てみると良弁滝が大山の真ん中より下ぐらいにあるよ。水垢離が終わった後も、かなりの道のりを登らないといけないんだね。さらに、大山詣りの男の人たちは納木太刀という木でできた刀（ページ下にいるオニカゲ君をチェック！）のようなものを大山の頂上まで担いで行ったんだ。江戸の町から大山の頂上までの道のりは大変だっただろうね！納木太刀を良弁滝で清めた後、神様にお供えし、ほかの人が供えた木太刀を持って帰ってお家に飾ったんだ。家内安全などのお守りとして人気だったんだ。



阿夫利神社
あふりじんじや

雨や雷にまつわる三人の神様が祀られているよ。お参りに来た人は納木太刀をここまで運んでいたんだよ。

大山寺
おおやまてら

江戸時代の大山寺は、現在の阿夫利神社下社の位置にあったよ。今も昔も、不動明王という仏様が祀られているよ。

納木太刀は、小さいものだと21cm、大きいものだと3mもあったんだ！重いよ～



良弁滝
らうべんだき

大山詣りの定番、水垢離スポット。葛飾北斎や歌川広重といった有名絵師の絵に描かれているよ。

【図3】萬古庵「相模国大山全図」（部分・加工）

*図を見やすくするために画像を明るくしているよ！展示室で見られる本物と少し色が違うから、びっくりしないでね。（オニカゲ学芸員より）

江戸の祭神

弁財天と不動明王

2024年11月13日（水）～12月15日（日）

前期：11月13日（水）～11月27日（水）・後期：11月30日（土）～12月15日（日）

11月28日（木）～11月29日（金）は展示替えのため休館

